

グローバルサウスと ブラジル

—南米の地域大国はどこへ向かうのか？

講師：高橋 亮太 氏（東京外国語大学 TUFS オープンアカデミー講師）

2022年ブラジル大統領選に勝利したルーラ氏は、「ブラジルが(国際社会に)戻ってきた」と述べた。政権発足後はグローバルサウスのリーダーを名乗り、G20 リオデジャネイロ開催を通じて自国の存在感回復に努めている。さらにはウクライナ戦争和平案を提案するなど、国際紛争の解決にも積極的である。2025年にはCOP30 自国開催を控える。

しかし、こうした積極外交の展開をもって、果たしてブラジルはグローバルサウスの中でリーダーシップを発揮していると言えるのか。アマゾン熱帯雨林を含む豊富な天然資源を擁し、世界有数の経済規模を誇る南米の新興国ブラジルが果たすべき役割とは何か。

日時：2025年1月23日(木)
2限 10:40 ~ 12:10

会場：7号館クリスタルホール

司会：磯田 沙織 先生

(本学イペロアメリカ言語学科 准教授)

講師略歴



東京都出身。立命館大学国際関係学部卒業、京都外国語大学大学院外国語学研究科博士前期課程修了。在ブラジル日本大使館専門調査員、(社)ラテンアメリカ協会ラテンアメリカ・カリブ研究所研究員、(株)三井物産戦略研究所研究員などを歴任。専門分野はブラジルの国際関係。主著に『世界の社会福祉年鑑 2021 (「ブラジル—新型コロナウイルス感染症の影響と対策」)』(分担執筆/2021年)。

参加申込はこちらから ▶



神田外語大学 グローバル・コミュニケーション研究所

〒261-0014 千葉県美浜区若葉 1-4-1 TEL/FAX: 043-273-2324 E-mail: gci@kanda.kuis.ac.jp